



今年も、さらに工夫された野岸祭。 参加した全ての人の心に残る野岸祭をありがとう！

四月、新入生を迎え、文化祭に向けても本格的な活動を始めたころ、執行部と校長を含めた教職員とのミーティングが行われました。内容は生徒会長の土屋さん、野岸祭運営委員長の依田さんを中心とした執行部からの野岸祭についての新たな企画、日程についての議論でした。執行部の熱い思いがほぼしる議論を経て、練り上げられた第 64 回野岸祭。野岸祭運営委員長・副委員長の感想です。 (写真撮影：金子明良先生)



野岸祭運営委員長 3年3組 依田恭輔 「野岸祭 ～4日間を振り返って～」

全校の皆さん、四日間お疲れ様でした。皆さんのおかげで今年の野岸祭も大成功でした。野岸祭での出来事は二週間たった今も昨日のこのようです。四月に入り、本格的に野岸祭の準備を始めました。私は三年間運営委員をやっていましたが、今年はこの三年間で最も優秀な人達が集まったなと思いました。私自身は何も出来ない委員長でしたが委員の皆さんは最後までついてきてくれて本当に感謝しています。最初はバラバラだった執行部の気持ちが一つになりました。このメンバーじゃなかったら、絶対成功しなかったと思います。また、大成功となったのは、先生方、スタッフの皆さん、そして全校の皆さんが支えてくださったおかげです。後夜祭での全校ダンスは最高に盛り上がりました。今年から始めた「未成年の主張」そして花火。最後の挨拶をしている時に全校の皆さんの笑顔を見て、野岸祭運営委員長をやっていて本当に良かったなと思いました。全校の皆さん楽しいひと時をありがとうございました。



野岸祭運営副委員長 3年3組 堀内日雅

私は野岸祭を創っているなかで、沢山の先生方、全校の皆さんに支えられていると実感し、とても感謝しています。今年は新たな文化祭を創ろうと新企画を色々考えました。全てが実現したわけではないですが、私たちがやりたいように自由にやらせてもらえて、達成感でいっぱいです。準備期間中は夜遅くまで残り、朝も早いので、とっても疲れましたが終えた今「青春したなあ」と恋しくすら思えます。私は今年初めて小諸高校の花火を見ましたが、どの花火大会より百倍キレイに見えました。また、色んな感情が花火のように爆発し、スッキリ消え去りました。何度もやめたい、と思ったけど最後までやり切り、とっても良い経験になりました。野岸祭に携わってくれた多くの方々に感謝します。

野岸祭運営副委員長 3年6組 小山百合香

平成 29 年度野岸祭～榮煌夢源～は、昨年とはガラッと変え、様々な新しい事に挑戦しました。テーマ「榮煌夢源」には、全校の壁を越えて、積極的に参加し、皆で輝ける文化祭という意味が込められており、そんな文化祭にするために、執行部で協力し合い準備をしました。私が一番力を入れた「ハモ☆コモ」は私の担当でもあり、必ず成功させたい企画でした。一生懸命準備してきたので、本番で多くのクラスのハモリを入れたパフォーマンスをしているのを見て鳥肌が立つほど感動しました。この時、私はハモ☆コモに携わることができて良かったと思いました。野岸祭で新しい企画に挑戦するのは難しいことで不安しかありませんでしたが、無事大成功を収めることが出来ました。これは執行部の仲間や先生方、そして協力してくださった全校の皆さんのおかげです。ありがとうございました。

高校野球長野大会開会式

「栄光は君に輝く」高らかに独唱！本校野球部員も健闘！

毎朝、学校へ向かう長い急坂を自転車で駆け上がる本校野球部員。昨秋、県大会に出場し、その勢いで健闘するも勝利には結びつきませんでした。新たな伝統を作った三年生の姿勢は確実に後輩に受け継がれ、確実に力を付けています。これからが益々期待される野球部です。

ひたむきに努力する姿、最後まで諦めることのない全力のプレー。

小諸高校ナイン、数々の感動をありがとう！



(新聞記事：7月7日・小諸新聞)

3年6組 吉田ひと実

7月8日の高校野球開会式で大会歌「栄光は君に輝く」を独唱させていただきました。松本市野球場に着いたときから会場の空気に吞まれそうになりました。あんなに多くの観客の前で、広い球場で、しかもマイク越しで歌ったことなど無かったので、とても緊張しました。待ち時間もずっと落ち着かず、無心でコップパンを3つ平らげてもやはり緊張は治まりませんでした。中三の時から胸に抱いていた「この場所で自分らしく歌う」という目標を実現できるチャンスをいただいてここに来ているのだから、中途半端な演奏などできない。会場の空気に吞まれずに、自分の歌を、皆さんに伝わる歌を堂々と歌い切ろうと思いました。壇上から見えた、球児の皆さんのまぶしい背中に精一杯のエールを贈りました。今までで一番、歌っていて気持ちが良かったです。貴重で素敵な一日でした。そんな機会をいただけて感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

【「疾風」野球部通信】から ※野球部員に向けて監督の柳沢先生が書いている通信(大会前日)から紹介します。

「敵地に遠征して強豪に挑める」ことの幸せに感謝。2時間・試合終了までに起こることは全てが想定範囲内。何でもありの大きな心。仲間を信じ仲間とともに闘う。夏は「試合」ではない、チームを練って困難を乗り越えてきた自分たちの「発表会」の場。これほど楽しく輝く時間が人生にどれだけあるか？思い切りプレーして暴れて、夏を、野球を満喫しろ。みんなで頑張りぬいて夏の大会に挑めることが何より素晴らしいこと。食いついて戦ってきた相手(佐久長聖・松商学園・長野日大等)、秋の代表決定戦2-7からの大逆転勝利、上田の猛攻に耐えて勝ち切った春。「絶対に諦めない！」これが小諸の執念の戦い方だ。

今月クラブ見学週間(1年未加入者のための)がありました。

2学年に引き継いだ運動部では早くも秋の大会に向けてフルパワー！

どの部活動も秋の活躍が期待されます！

《保護者の皆様へ》

「学びの改革」に係る地区懇談会(県教育委員会主催)が開催されます。

すでに、全校配布のプリントでお知らせいたしましたとおり、標記の懇談会が開催されます。内容は「新たな高校づくり」等についての意見交換です。少子化に伴う高校再編について広く意見をお聴きするのが目的です。6区の日時会場は以下のとおりです。

・日 時：8月8日(火) 18:30～20:30 ・会 場：佐久市佐久平交流センター